

第38回日本フィッション・トラック研究会実施報告

安間 了

第38回日本フィッション・トラック研究会は、2014年2月16日（日）～18日（火）の3日間に渡って、大阪府池田市の伏尾温泉・不死王閣の会議室にて開催された。2013度の研究会は、前年度に共催という形で参加していただいたESR応用計測研究会・ルミネッセンス年代測定研究会の幹事で、大阪大学の山中千博先生・谷篤史先生に世話をさせていただいての合同研究会となった。初日の夜には大阪市立大学の益田晴恵先生による招待講演「有馬温泉とプレートテクトニクス」があり、六甲花崗岩の裏・表ではあるものの、温泉を楽しみながら泉質を規制する要因について思いを巡らせる機会となった。また久しぶりの合同研究会ということでフィッション・トラック研究会から京都大学の田上高広先生に「断層帯の熱年代学:四万十帯興津メランジェ震源断層の熱過程研究」、ESR・ルミネッセンス研究会から産業技術総合研究所の伊藤一充先生に「ルミネッセンス計測の基礎・魅力・展望と産総研OSLラボの紹介」という題目で基調講演をお願いした。基礎的なところから最近の応用例までを紹介していただき、全体の討論を深化・促進する上でたいへん効果的であった。これらを中心に35件の一般講演と2件のポスター発表があり、研究会参加者（下記の48名）と活発な議論が交わされた。それぞれの講演者からは最新のテーマとデータが提供され、学生さんにも多数発表していただいたが、それぞれまとまった質のよい発表であった。夜も広めの一室に大勢が参集し、杯を片手に深夜まで懇親を深めた。

研究会の最終日には20名以上の希望者が参集して大阪大学総合学術博物館、理学研究科実験室の見学を行った。博物館では緒方洪庵以来の大阪大学の歴史、マチカネワニの標本展示など、充実した展示を堪能させていただいた。理学研究科では所狭しと並んださまざまな実験機材に圧倒され、燃える氷、メタンハイドレートの燃焼実験に歓声をあげた。

研究会と見学会の準備・開催にあたり、ほとんどすべてを大阪大学の谷篤史先生、山中千博先生に仕切っていただきました。たいへんお世話になりました。ここに心より感謝いたします。お手伝いをしていただいた関係者の皆さまにもこの場を借りて感謝いたします。

出席者（所属略称）五十音順：前回参加・今回不参加：18名，
安間了（筑波大），磯野祐輔（岡山理大），伊藤久敏（電中研），伊藤健太郎（金沢大），伊藤一充（名古屋大），岩野英樹（京都FT），大島基（大阪大），太田雅壽（活性固体研究所），小形 学（金沢大），小畑直也（古環境研究所），雁澤好博（北海道教育大），北田奈緒子（地域地盤環境研究所），來見圭祐（大阪大），佐久間幹（地球科学総合研），島田愛子（JOEL），白井香奈江（丹沢探求会），新正裕尚（東京経済大），末岡 茂（京都大），鈴木麻由（大阪大），清家一馬（早稲田大），高田将志（奈良女子大学），田上高広（京都大），竹内圭史（産総研），谷 篤史（大阪大），田村明弘（金沢大），豊田 新（岡山理大），西川真央（大阪大），西村 進（京都自然史研究所），蜷川清隆（岡山理大），野曾原吉彦（岡山理大），長谷部徳子（金沢大），服部涉（アガペ甲山医研），林 遼（金沢大），林崎涼（首都大学東京），藤原泰誠（岡山理大），本田千晶（金沢大），益田晴恵（大阪市立大学），松田時宜（龍谷大学），三嶋麻絹（岡山理大），水田幸男（JOEL），村松敏雄（新潟大），山沖留美（大阪薬科大），山崎誠子（産総研），山田隆二（防災科研），山中千博（大阪大），吉田真徳（岡山理大），Rabiul Haque Biswas（岡山理大）（敬称略）

第38回フィッション・トラック研究会総会報告

2014年2月16日

文責：安間 了

1. 普通会员過半数の出席および委任状をもって，総会は成立した
2. 今年度の活動報告，会長・委員構成，会員の移動，原子炉の運行状況について報告した．
3. 2012年度の会計報告，会計監査報告を行い，承認された．
4. 2014年度の活動計画を提示し，承認された．
5. 来年度の執行部体制は現執行部に末岡茂氏を加えて臨むことが提案され，承認された．

以下の9名の方々からは総会に関わる委任状をいただきました。ご協力いただき、ありがとうございました。白杵昌子，笹尾英嗣，下岡順直，檀原 徹，檀原有吾，星博幸，松浦秀司，森本祐一郎，山田国見（敬称略）